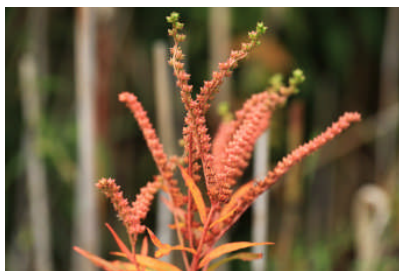




～ 秋の彩湖は見所満載 ～

ススキやオギの穂が風にたなびき、桜の葉っぱも色づきはじめました。彩湖周辺はすっかり秋の景色です。カンムリカイツブリやコガモといった彩湖名物の冬鳥たちも姿を見せはじめています。また、今年は台風による雨が多かったせい「タコノアシ」が例年になくたくさん見られます。茎の先からこの足のよう(めいぶつ)に枝が伸び、秋になるとゆでだこのように真っ赤(あか)に色づくことからこの名前がついています。

かつて、このタコノアシという植物は、川の下流や河口の湿地、水田周辺などに生育していたもので、それほど珍しいものではありませんでした。しかし、都市化



が進むことで生育場所も減少し、現在では準絶滅危惧種に指定されている希少種となっていました。センター周辺では、毎年この時期に数本は確認できていましたが、今年ほど多く見られたのはここ5年間で初めてです。環境さえ整えば自然は再生する力を持っているのですね。

センターでは、3つの池周辺で見られます。これから11月下旬にかけてさらに赤く色づいてきますので、ぜひ、ご来館の際に観察してください。(T)

季節の生き物

オオバン(ツル目 クイナ科)

11月になると、20～30羽ほどの集団で水辺に上がり、食べ物をついばんでいるオオバンがよく見られるようになります。黒くて地味な鳥ですが観察していると、ヨチヨチした歩き方が何ともかわいく、親しみがわきます。人が近づくと歩いて湖へ逃げてしまいます。全長が37～38cmほどで、



頭は黒、体は灰黒色、目は赤、額には乳白色の額板があり、くちばしは白色です。足は、各足指から水かきの役割をしている木の葉状の弁膜が付いている弁足になっています。湖沼や川などにすみ、水生植物の種や芽、根などを主食にしていますが、小魚やこん虫なども食べる雑食性の鳥です。埼玉県では絶滅危惧類に指定されていますが、彩湖ではこれからよく見られる鳥ですので、観察しに来てください。(I)



講座案内(11月・12月)



11月16日(土) **野鳥観察会** 雨天実施

「彩湖周辺の野鳥・初冬」

冬の野鳥観察シリーズ 第1弾初冬です。極寒の地域から渡ってきた冬鳥を、講師の先生と一緒に観察します。どんな鳥がやって来ているのか、ぜひ見に来てください。

対象：一般・親子など(小学校3年生以下は保護者同伴)

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：双眼鏡(貸出可)

参加費：1000円(保険代) 秋冬の観察会は、マイクロバスで彩湖沿いを移動します。



11月30日(土) **自然ふれあい教室** 雨天実施

「落ち葉でつくる小物づくり」

いろんな色に染まった落ち葉を集めて、押し葉にしました。これで壁かけやコースターを作ります。ちょっとした図鑑にもなりますよ。

対象：小中学生・一般

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：作品を持ち帰る袋

参加費：2000円(材料費・保険代)



12月14日(土) **親子ふれあい教室** 雨天実施

「木の実を使ったリースづくり」

学習センターの周りにあるクズという植物のつるを土台に、マツボックリなどの木の実をつけて、素敵なリースを作しましょう。ちょっと難しいので、親子で協力して作ってくださいね。

対象：小学生以上の親子

定員：12組24名(1組2名まで) ～1家族1個限定です～

会場のスペースの都合上、1組2名でお願いします。

大人1名に子ども2名などは、申込時にご相談ください

時間：10:00～12:00

持ち物：軍手、剪定ばさみ

作品を持ち帰る袋(リースの仕上げりサイズは直径35cm程度になります。)

参加費：12000円(材料費)



注意事項 本講座は、材料確保の都合上、直前キャンセル(当日含む)はお受けできません。かぜ等でやむを得ず欠席の場合は、後日材料費(1,200円)と引き換えに材料一式をお渡します。その点をご了承いただき、お申し込みください。なお、事前キャンセルは、12/8(日)までにご連絡ください。



申込方法：彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください(申し込みは、代理の方でも結構です)。各講座は、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

なお、申し込みは、講座の1か月前から受け付けています。 :048-422-9991

詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>)をご覧ください。